DJHS News Letter TECH@DJHS

学び舎

学びやNo1～12

パッションフルーツ

TECH@DJHS / 2021.7.2

パッションフルーツの花が咲きました！

１年技術の生物育成の授業で、パッションフルーツの栽培に取り組んでいます。2週間前、苗を大きな袋に移し替え、水やりしながら見守ってきました。

咲きました！パッションフルーツの花！

南国の雰囲気のある可愛らしい花です。人工受粉するのですが、雌しべと雄しべがわかりますか？真ん中の3つに分かれている部分が雌しべです。うまく実がなってくれることを祈っています。

パッションフルーツは京都府南丹の川辺振興会の役場の皆さんと共同でアドバイスをいただきながら育てています。実がなれば、パッションフルーツを使った「何か」を中学生のアイデアで

次々提案していくビジネスプランコンテストのような活動に移行していきます。ますます楽しみです。

南丹市の川辺振興会との合同プロジェクト2022

TECH@DJHS / 2022.5.21

南丹市　川辺振興会の片山さんと中嶋さんよりたくさんのパッションフルーツの苗木をいただきました。苗木を大きく育て、パッションフルーツを収穫し、町おこしのビジネスプランを提案していくプロジェクト"パッション・フルーツ・プロジェクト"がスタートしました。南丹市の川辺振興会は、地域住民向けに「パッションフルーツの苗木配布」を行っておられます。
https://blog.canpan.info/tedasu/archive/26

川辺振興会は昨年度作ったパッションフルーツから新しい製品を試作し、食品工場に持って行ったらしいです。すると工場長から「いける！」との太鼓判。パッションフルーツのアイスの商品化に向けて取り組んでおられます。パッケージデザインなど一緒につくっていけたらいいなと思います。昨年度も同志社中学も同じように栽培してみましたが豊作とはならず、日向などの環境に左右されることがわかりました。今年は、場所を改善し、パッションフルーツの豊作を目指します。

今後、新しいビジネスプランを作りたい。ブランディングをやっていきたい。栽培、収穫、アイデアだし、プランを提案、さらに代表を町役場の人といっしょにディスカッション、、、と考えています。本日の作業は、苗木の移し替えを行い、小さいことだけど大きな本物の体験をすることができました。

1　土入れ

2　肥を入れて混ぜる

3　苗木の移し

4　水やり

5　本物のパッションフルーツの香りを体験。どんな商品ができるだろうか？

単なるビジネスコンテストではありません。技術の授業で本格的な栽培実習の栽培体験を経てのビジネスプランの提案となる予定。本物の体験を通した実感のこもったアイデアが出てくるでしょう。期待します。（沼田）

フィリピンMCLお米プロジェクト

TECH@DJHS / 2022.5.2

食で広がる子どもたちの可能性

「MCLお米プロジェクト」とは、フィリピン・ミンダナオ島の子どもたちにお米届けるため水田を作るプロジェクトです。ミンダナオ島は貧しい家庭が多く、1日3食食べることができない、食べられてもせいぜいお芋だけ、といった生活を送っている子どもたちが多くいます。水田を作ることで、食の自立の未来を目指します。

「今回は、現地の現状を知ってもらいながら、何ができるかを考えるきっかけになればと思っています。」（西村さん）とのことで、西村さんより最新の取り組みのお話を聞きながら、みなさんと考えたいと思います。

MCL（ミンダナオ子ども図書館）は朝日放送でも取り上げられたことがあります：なぜこんなところに日本人http://www.edit.ne.jp/~mindanao/nazekokoSS.mp4
この映像は、エンタメ番組なのですが、涙がでてきます。

図書館の子どもたちとオンラインで交流！
マーヨンハポン！こんにちは！

フィリピン・ミンダナオ子ども図書館（MCL)とオンラインでつながりました。フィリピンより6名の参加があり合計18名の参加者となりました。

まずMCLの西村さんより、図書館の取組と西村さんがなぜMCLのスタッフになられたかなど心温まるお話をいただきました。その後、MCLの子ども達からの質問や、事前にこちらから用意していた質問などの交流をしました。

また、フィリピンの子ども達の笑顔に出会えて本当に良かったです。4年前に本校でホームステイして下さったときからのお付き合いになります。コロナが終わったら必ず訪れてみたいものです。

[参加した生徒の感想]

「 紛争の危険と隣り合わせで生きていても、子供たちは笑顔が溢れていてすてきな場所だなと思った。自分にも何かこの子供たちを助けられることが有ればいいなと思う。
西村さんがミンダナオ島に行ってみての生活をおっしゃったのを聞いて、毎日生きるために一生懸命働いて毎日を大切に過ごすことが幸せだという考えがあるんだなと思いました。日本やアメリカ、ヨーロッパなどの先進国で味わえる楽しさもいいけれど、発展途上国だからこそ感じることができる毎日生きられる喜びもいいなと思いました。ミンダナオ島の子供図書館に行ってみていろんな人々に会って喋ってみたくなりました！ありがとうございました。楽しかったです。」（3年Kさん）

「ミンダナオ子供図書館　2003年4月設立　通称MCL
・希望すれば小学校から大学まで支援される
・両親が殺される、極貧とかで身の拠り所がない子供たち。
〈絵本の読みきかせ〉
愛と友情を届ける
〈医療支援〉
・医者の診察、手術も
〈ミンダナオの紛争の原因〉
「宗教」→ミンダナオ子供図書館では、違う宗教の子供たちも、仲良く。
〈多くの紛争の原因〉
先進国による、資源の権利。巻き込まれるのは、関係ない地元の人たち。
◉日本などによる森林伐採→洪水被害
◉こんな問題は世界中にあるけど、何もできない…
貧しくても、今を生きようとする現地の人たち。先進国の人たちがこんな問題は世界中にあるけど、何もできない…
貧しくても、今を生きようとする現地の人たち。先進国の人側が救われた。
植林活動や絵本、古着、米、石鹸等を避難所へもっていくような洪水対策

〇〇してあげるのではない。
【質問タイム】
日本は支援しているから好き!
学校もそんなにコロナで行けていない

基本は自分で何でも料理を作る
温泉がある!!
まだコロナで読み聞かせに行けてない
伝統的なことも結構やる
マノボ族の祭りが9月くらいにある
常夏だから半袖!”」（2年Tさん）

「一つ一つの質問に丁寧に答えてくださいまして、ありがとうございました。
MCLのみなさんと実際にお顔を見ながらお話出来て、とても楽しい時間を過ごせました。
そちらでの生活の様子がとても良く伝わってきました。一回に100人分もの食事を、お当番のみんなで協力しながら作ることは大変だと思いますが、心がこもっていて、より一層おいしそうです。みんな、お料理が上手そうです。一年中泳げるところもいいなあと思いました。まだまだ生活面で不便だったり、家族に会えなかったり辛いことも多いと思いますが、これからも笑顔で明るくみんなで仲良くお過ごし下さい。今日私はみなさんから、もっとみんなと協力することや感謝の気持ちを忘れないことの大切さを学びました。」（3年Oさん）

途上国のみんなに救われたのは私だった

ミンダナオ子ども図書館オンライン国際交流

TECH@DJHS / 2021.12.21

西村さんから、お便りがきました！

「ミンダナオ図書館の子どもたちと交流にあたって、参加する子ども達が決定しました！」というお便りがきました。

12/27(月)16:00オンラインでミンダナオ（フィリピン）とつながります。MCL（ミンダナオ子ども図書館）との交流企画において、参加してくれる子ども達が決定したとのお便りが西村さんよりきました。西村さん、現地日本人スタッフもいっしょに参加するので、語学の心配はまったくいりません。気軽に参加して、現地の子ども達と交流してください。西村さんが通訳してくださいます。

以下西村さんより–「12/27の交流に参加するMCLの子どもたちが仮決定したので、以下お伝えします。5名の子ども達になりました。」———-とのことです。

シャイな子ども達なので、事前に質問などあったら教えてほしいと言われています。質問など別途GoogleFormで集めますのでどうぞ回答ください。

トップ画像にあるスライドは、西村さんが当日お話していただく1コマです。「途上国のみんなに救われたのは私だった」という一言の背景にある深い話や、西村さんの背景、共に生きるとは？、人が人であることって？など、たくさんの気づきをいただける予定です。

MCL（ミンダナオ子ども図書館）は、朝日放送でも取り上げられたことがあります。公式MCLのホームページにリンク「なぜこんなところに日本人」
http://www.edit.ne.jp/~mindanao/nazekokoS.mp4をぜひごらんください。この映像はエンタメ番組なのですが、私がみたときは松居さんの生き方に涙がとまりませんでした。（見るときはハンカチ用意です。）

スタッフとして就職された西村奈々子さん、現地にいらっしゃる宮木さん、MCLのこどもたちと一緒に交流のひと時を持ちましょう。語学の心配いりませんので、保護者の方もぜひ一緒に入ってください。もちろん、英語を使っての対話、セブワノ語やフィリピーノ後を使っての対話もOK.

参加された保護者の方からもコメントいただきました。チャットでコメントいただきました。
「先生のお話、とても勉強になりました。また授業でもっと沢山の生徒にも聞いてもらいたい内容でした。授業で交流ぜひしてください！ありがとうございました。（同志社中学 保護者）」

「今日の松居さんのお話を聞いて、とても良い学びになりました。私は国際社会の中でも子供達の教育や暮らしとかにすごく興味があったので今回の学びプロジェクトに参加したのですが、松居さんのお話を聞いて、私は知らないことだらけで、一度ミンダナオに行ってみたいなと思いました。もしいつか、ミンダナオに行ける機会があれば、現地の人たちや同じぐらいの子供たちとも仲良くなりたいなと思います。今、世界では民族や宗教の違いで紛争や武力戦争、内戦などが起きているけれどこのミンダナオ子ども図書館では、いろんな宗教や民族の人がともに暮らしています。だから、私はこのミンダナオ子ども図書館は違う宗教を持った人や考え方を持った人が一緒にいても協力すれば仲良くなれるし、より楽しい時間を過ごせるということを教えてくれるとてもいい場所だと思いました。みんなが家族のように仲良くて協力して生活している姿を見て羨ましいなとも思ったし、もっとミンダナオの人たちと交流してみたいなと思いました。松居さんがおっしゃっていたように、国境というのはなくて人間が勝手に作った物だということは本当にそうだと思うし、とても印象に残っています。今日のお話は松居さんから沢山学んだことがあったし、もっとミンダナオの子供たちからもから学ぶことは沢山あると思うので是非色んなことを知りたいなと思いました。そして、私も自分の住んでいる京都のことも知ってもらいたいと思いました。何より、ミンダナオの人たちは身の回りの全てに感謝の気持ちを持っていたので、私にとっては当たり前かもしれないけれど、その当たり前の毎日があることに感謝したいなと思いました。」（岩崎さん）

＜国際交流＞オンラインツアー
ウガンダ・チャングアリ難民キャンプ

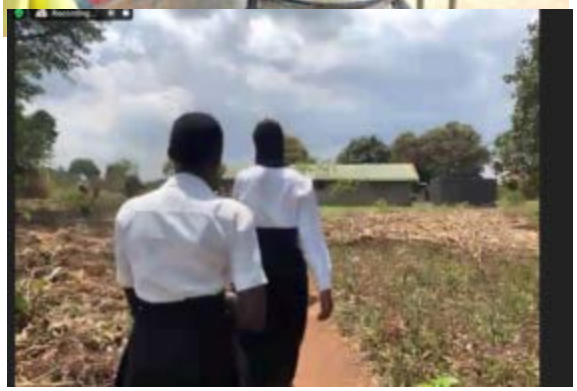
TECH@DJHS / 2022.8.5

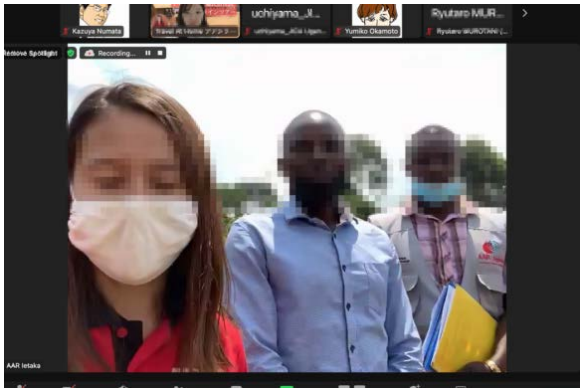
すごい現地感のオンラインツアー

JICA、AAR,Torch、現地のNGOや会社、同志社大学、同志社大学大学院のみなさんのおかげで、2022年8月5日にウガンダオンラインツアーが実現しました。チャングアリ地域に難民キャンプがあり、現地ウガンダの生徒と難民キャンプの生徒が通える学校を訪問しました。「勉強は楽しい」と笑顔で話してくれる生徒がとても印象的でした。また理科室の教具なども見せていただきました。理科室の教具がそろっている背景には、卒業試験に理科の実験などがあるからとききました。

その後、マーケットも見学しました。居住地の中でも大き目なマーケットに行くことができました。

フルーツのバナナ、食用のバナナ（緑）、ビスケット、キャンディ、文具など現地ならではの映像をみることができました。卵（スクランブルエッグのような）をチャパティでまいた「ロレックス」という食べ物、美容室、ヤギのお肉＋バナナのレストランなどとても興味深く見学することができました。（沼田）





以下生徒の感想。

＊「ウガンダの貧困などを考えることができてよかった。」
＊「日本は色々な国を支援し、生活を支えていることを知った。」
＊「難民を助けるために、日本も現地の学校の理科室の建設に携わっていたことが分かった。
小学校は無償だけど、中学校は日本とは違ってお金がかかることが分かった。そこに給食費が入っているのは意外に思った。小学校も無料とはいえ、文房具やユニフォームで結局お金がかかってしまうということに、そこに他の団体から支援がこないのかと不思議に思った。」
＊「有意義な時間でした。ウガンダの方も、それに携わっている方もいい人ばかりで、人の性格はやっぱり、行動に現れるなあと改めて思いました。ポショが美味しそうで、食べてみたいです。日本の車がウガンダで使われていると聞いて、なぜか少し嬉しくなりました。ウガンダの方は、現地のお子さんにどんな人になってほしいのかな、と思いました。」
＊「わかりやすくて面白かった。ウガンダの学生が年上の人ばかりだったので同じ歳くらいの人と話したかった。1日に120分✖6時間も勉強してすごいと思った。ロレックスのクレープみたいなものが美味しそうだった。日本は豊かな国だと改めて実感した。」

ウガンダの学校と国際交流できる学びプロジェクト！

TECH@DJHS / 2022.8.3

オンラインツアーでアフリカ（ウガンダ）の現地のマーケットや学校へ旅行する

JICA+ウガンダ現地会社Torch+同志社大学・大学院　岡本教授と同志社中学校て合同企画したウガンダオンラインツアーです。現地の食事だけでなく現地の学校の生徒たちとオンラインで交流できます。通訳もついているのでぜひ参加してください。英語が自信のない人でも十分に楽しめる企画です。ぜひこれを機会に国際交流してみましょう。英語でも日本語でもいいので、現地の子どもたちに質問してみよう！(沼田）